

2017年3月7日(火)
開催

早稲田大学レジリエンス研究所
第6回原子力政策・福島復興シンポジウム
東日本大震災と福島原発事故から6年
～原子力政策と福島復興の今後のあり方を考える～

概要

東日本大震災・福島原発事故から2017年3月11日で6年を迎えます。早稲田大学は、2011年5月に東日本大震災復興研究拠点を設立し、早稲田大学の知的共同体としての叡智を結集し、被災地復興に貢献すべく研究を行ってまいりました。本シンポジウムでは、「フクシマの教訓」をふまえた今後の原子力政策のあり方について、特にバックエンド問題(高レベル放射性廃棄物の地層処分問題)に焦点を当てて議論します。また、東日本大震災・福島原発事故からの復興に取り組む福島県の状況と今後の課題について、福島県内地域からの参加者とシンポジウム参加者を交えて議論したいと考えています。

日時・会場

主催 : 早稲田大学レジリエンス研究所
<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>
日時 : 2017年3月7日(火)13:30-17:30 (受付開始:13:00)
会場 : 早稲田大学19号館(早稲田大学西早稲田ビル)710教室
講師 : 師岡慎一(早稲田大学)、勝田忠広(明治大学)、
中川 唯(東京工業大学)、黒川哲志(早稲田大学)、
山下竜一(北海道大学)、勝田正文(早稲田大学)、
遠藤 智(福島県広野町)、菅波香織(未来会議事務局)、
大手信人(京都大学)、森口祐一(東京大学)、
島村守彦(いわきおてんとSUN企業組合)、
遠藤義之(いわき地区広域自治会「さくらの会」)、
友成真一(早稲田大学)、
松岡俊二(早稲田大学)(順不同)

申込方法: 事前登録制(定員60名)に達し次第締め切ります。
参加費 : 無料

アクセス・地図



プログラム

《MC: 岩田優子(早稲田大学)》

13:30 基調報告

松岡俊二(早稲田大学・教授・研究代表者)

14:00 第1部: フクシマの教訓をふまえた原子力政策の今後のあり方を考える～

モデレーター : 師岡慎一(早稲田大学・特任教授)

討論者 : 黒川哲志(早稲田大学・教授)

山下竜一(北海道大学・教授)

・福島原発事故後の原子力政策の課題と展望

勝田忠広(明治大学・准教授)

・福島原発事故の教訓と原子力安全規制・

バックエンド問題

中川 唯(東京工業大学・博士課程)

15:15 休憩

15:30 第2部: 福島復興のこれから: 福島から日本の地域社会の持続可能な「かたち」を考える

モデレーター: 勝田正文(早稲田大学・教授)

討論者: 島村守彦(いわきおてんとSUN企業組合・事務局長)

遠藤義之(いわき地区広域自治会「さくらの会」事務局)

友成真一(早稲田大学・教授)

・今後の福島復興のあり方を広野町の経験から考える

遠藤 智(福島県広野町・町長)

・未来会議の考える福島県内地域の未来

菅波香織(未来会議事務局長・弁護士)

・福島県の森林生態系内の放射性物質と地域復興

大手信人(京都大学・教授)

・福島県の放射能汚染と地域復興

森口祐一(東京大学・教授)

17:20 閉会挨拶

松岡俊二(早稲田大学・教授・研究代表者)

申込・問い合わせ

申込・問い合わせ先: [jyuten-fukkou\(アットマーク\)list.waseda.jp](mailto:jyuten-fukkou@list.waseda.jp)(アットマークを@に修正し、送付してください。)

氏名(フリガナ)、所属先、メールアドレスを記載の上、上記メールアドレス宛てにお申し込みください(先着60名)

※本シンポジウムは、早稲田大学総合研究機構からの助成を受け開催しています。